

令和3年度実施

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行状況  
点検・評価報告書

令和3年10月

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

## 目 次

- 1 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
  - 2 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について・・・・・・ P. 1
  - 3 箕蚊屋中学校の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
  - 4 教育委員会の構成及び会議の開催状況・・・・・・・・・・ P. 2
  - 5 教育委員会での審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2
  - 6 点検・評価と米子市教育振興基本計画について・・・・・・ P. 3
  - 7 点検・評価の方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
  - 8 点検・評価結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
  - 9 点検・評価票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 6
  - 10 学識経験者の知見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3 4
- 別紙 米子市教育振興基本計画体系図・・・・・・・・・・・・ P. 3 5

## 1 点検・評価の目的

米子市日吉津村中学校組合教育委員会では、平成20年度から毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、地方教育行政法）第26条の規定に基づく点検・評価及び公表）

その目的は、自ら事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、課題や問題点を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていこうとするものです。

## 2 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について

米子市日吉津村中学校組合は、組合を組織する米子市（巖地区、春日地区、伯仙地区）と日吉津村の中学校事務を共同処理するため、組合立箕蚊屋中学校を設置し、箕蚊屋中学校に関する教育事務を管理執行するもので、組合の執行機関としての教育委員会は、地方教育行政法第21条に規定する事務を管理執行しています。

## 3 箕蚊屋中学校の状況

箕蚊屋中学校の状況は次のとおりです。

### (1) 生徒数及び学級数（令和2年5月1日現在）

（単位：人、学級）

区分	1学年	2学年	3学年	特別支援	合計
男子	86	77	91	10	264
女子	62	63	76	3	204
合計	148	140	167	13	468
学級数	5	4	5	4	18

### (2) 学校施設

区 分	施 設 規 模	
校地面積	27,935 m <sup>2</sup>	
建物延べ床面積	6,529 m <sup>2</sup>	
内 訳	本校舎	鉄筋コンクリート造3階建 (3,107 m <sup>2</sup> )
	特別教室棟	鉄骨造2階建 (1,690 m <sup>2</sup> )
	体育館	鉄骨造平屋建 (936 m <sup>2</sup> )
	武道館	鉄骨造平屋建 (300 m <sup>2</sup> )
	その他	部室、倉庫、灯油庫、プロパン庫 (計 424 m <sup>2</sup> )
プール施設	2,242 m <sup>2</sup> (建物部分は72 m <sup>2</sup> )	

## 4 教育委員会の構成及び会議の開催状況

### (1) 教育委員会の構成

米子市日吉津村中学校組合教育委員会委員名簿 (R2. 4. 1~R3. 3. 31)

職名	氏名	任期	備考
委員	井田博之	H29. 10. 29~R3. 10. 28	教育長職務代理者 日吉津村教育委員会教育長
委員	金山正義	H30. 10. 24~R3. 5. 19	米子市教育委員会委員
委員	松本公文	R1. 10. 27~R5. 10. 26	日吉津村教育委員会委員
委員	荒川陽子	H28. 10. 4~R2. 10. 3	米子市教育委員会委員
委員	三瓶文乃	R2. 10. 4~R6. 10. 3	米子市教育委員会委員
教育長	浦林実	R1. 10. 4~R4. 10. 3	米子市教育委員会教育長

### (2) 会議の開催状況

教育委員会の会議は必要に応じて開催し、令和2年度は6回開催しています。

## 5 教育委員会での審議状況

教育委員会で令和2年度に審議したものは、次のとおりです。

※議案番号は、暦年で付しています。

- 令和2年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (令和2年4月27日)  
議案第6号 令和2年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算 (補正第1回) について
- 令和2年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (令和2年7月31日)  
議案第7号 令和3年度から令和6年度まで使用する中学校各教科の教科用図書採択について  
議案第8号 令和2年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算 (補正第2回) について
- 令和2年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (令和2年8月19日)  
議案第9号 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
- 令和2年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (令和2年11月20日)  
議案第11号 財産の取得について
- 令和3年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (令和3年3月11日)  
議案第1号 組合立学校の県費負担教職員の異動の内申について
- 令和3年米子市日吉津村中学校組合教育委員会 (令和3年3月18日)  
議案第2号 令和2年度米子市日吉津村中学校組合一般会計補正予算 (補正第4回) について  
議案第3号 令和3年度米子市日吉津村中学校組合一般会計予算について
- その他

## 6 点検・評価と米子市教育振興基本計画について

米子市教育委員会では、平成24年度に策定した「米子市教育振興基本計画」（以下「基本計画」といいます。）において、教育の基本理念や基本目標からなる基本構想を実現するための取組を示した基本施策については、平成29年度からの5年間の後期期間の見直しを行い、体系的かつ効果的な教育の基本施策を実施しています。

箕蚊屋中学校は、組合立の学校ですが、運用として米子市立中学校と一体的に扱われ、同一步調の教育方針により教育が推進されています。

このため、学習指導、生徒指導等に関する教育はもとより、学校運営に関する事務についても米子市立中学校と同様に処理されています。

令和2年度に実施した事務の管理及び執行状況の点検・評価に当たり、本組合教育委員会は、関係する7つの基本施策について、その推進状況や課題等を踏まえて評価を行いました。

### 令和2年度事務の管理及び執行状況において点検・評価した基本施策

- 基本施策1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成
- 基本施策2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成
- 基本施策2-2 安全で安心な学校施設の改善
- 基本施策2-4 学校のICT環境の整備
- 基本施策2-5 通学路の安全確保
- 基本施策2-6 学校図書館の充実
- 基本施策4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成

## 7 点検・評価の方法について

### (1) 点検・評価の流れ

- ① まず、各担当課において、後期基本施策に該当する「主な取組（個別事業）」について点検・評価を行い、その結果を総合して基本施策の評価を行いました。（1次評価）
- ② 次に、教育委員会事務局及び関係各課で組織する評価委員会が、各担当課の評価を参考にして基本施策の評価を行いました。（2次評価）
- ③ 最後に、組合教育委員会が、評価委員会の評価を参考にして、基本施策の最終的な評価を行いました。（3次評価）

## (2) 点検・評価の区分

「主な取組（個別事業）」の点検・評価については、取組状況及び数値目標に対する実績を評価基準に基づき◎から×の4段階で評価しました。

評価区分		内 容
◎	達成	優れた取組や状況等が見られ、数値目標が100%以上となり、順調に目標が達成されたもの
○	概ね達成	良い取組や状況等が見られ、数値目標が80%以上となり、概ね順調に目標が達成されたもの
△	あまり達成できなかった	課題が少なからずあり、数値目標が80%未満となり、目標があまり達成できなかったもの または、一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの
×	未達成	課題が多く、まだ改善に向けた取組に着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど、目標がほとんど達成できなかったもの

基本施策評価（総合評価）については、主な取組（事務事業名）の評価及び取組状況の総括を参考に、基本計画の後期期間（平成29年度～令和3年度）において、評価年度での基本施策の到達度の観点から、総合的にSからDの5段階で評価しました。

評価区分		内 容
S	目標達成	基本施策において、全ての取組の目標が達成されたもの
A	順調	基本施策において、取組の進捗状況が順調なもの
B	概ね順調	基本施策において、取組の進捗状況が概ね順調なもの
C	やや遅れている	基本施策において、取組の進捗状況がやや遅れているもの
D	遅れている	基本施策において、全ての取組の進捗状況が遅れているもの

## 8 点検・評価結果の概要

### (1) 総合評価

評価した7つの基本施策のうち、目標達成したもの（S）は1施策、順調としたもの（A）は6施策、概ね順調、やや遅れている、遅れているもの（B、C、D）はありませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、取組に支障が生じたものが見られましたが、全体としては概ね順調に進捗したものと評価しています。

基 本 施 策	評 価
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	A
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	A
2-2 安全で安心な学校施設の改善	A
2-4 学校のICT環境の整備	S
2-5 通学路の安全確保	A
2-6 学校図書館の充実	A
4-1 健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成	A

## (2) 基本施策ごとの評価

基本施策ごとに見ると、「豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。

スクールソーシャルワーカー、フレンドリールームについては、近年の取組による成果が出てきているが、更なる体制強化を含めた支援の拡充を望む。また、ICT技術の活用を推進し、不登校対応等に取り組んでほしいとの意見がありました。

次に、「確かな学力を身につけた子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。

学力・学習状況調査の結果は、実績向上に努め成果を出す必要がある。また、情報モラル教育は、SNS等のトラブルなどあるので、より掘り下げて取り組むこと。また、イングリッシュパークの取組は良いことなので、今後も継続してほしいとの意見がありました。

次に、「安全で安心な学校施設の改善」では、順調（A）の評価となっています。

老朽化対策は重要な課題であり、大規模改修、修繕の計画については、前倒し的に進めて行ってもらいたいとの意見がありました。

次に、「学校のICT環境の整備」は、目標達成（S）の評価となっています。

全生徒にタブレット端末を整備できたことと同時に、教職員を対象としたICT活用に関する研修を計画実施したことも大いに評価できるとの意見がありました。

次に、「通学路の安全確保」では、順調（A）の評価となっています。

連絡協議会にメンバーを新たに加えることは難しくとも、偏ることがないように、新たな視点を加えて多面的に通学路の安全確保ができるように努めてほしいとの見識がありました。

次に、「学校図書館の充実」は、順調（A）の評価となっています。特段の意見及び指摘事項はありませんでした。

最後に、「健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成」では、順調（A）の評価となっています。特段の意見及び指摘事項はありませんでした。

## 9 点検・評価票

基本施策の点検・評価（様式2）に続けて個別事業の評価票（様式1）を掲載しております。



令和 3 年度実施  
令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	1-1			
	項目名	豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成			
	概要	<p>昨今の子どもたちには、他者と協調し、人を思いやる心や感動する心や自尊感情の希薄さが見受けられる。また、そうした背景の中で起こるいじめ、不登校、学級が機能しない状況など、様々な課題が見られる。</p> <p>そこで、自他を尊重する態度の育成と児童生徒の自主的・自発的な活動を小中学校が連携して推進するため、様々な分野の教育の充実に努める。</p>			
所 管	学校教育課 指導担当・人権教育担当				
主 な 取 組 (事務事業名)	番号	事務事業名	個別事業評価		
	①	心の教育の充実	○		
	②	人権教育の充実	◎		
	③	生徒指導の充実	○		
	④	キャリア教育の充実	◎		
	⑤	環境教育の充実	◎		
取組状況の総括	<p>【成果】 生徒の自治力の向上を図る取組が定着し、不登校生徒数が減少するなど、安心・安全な学校づくりを推進することができている。また、キャリア教育や環境教育の充実が図れた。</p> <p>【課題】 不登校生徒数が減少した反面、個別の状況が多様化・複雑化してきており、改善に向けた取組が課題である。</p> <p>【改善策】 個々の状況をアセスメントし、関係機関と連携を図りながら適切に対応していく。また、市全体として抜本的な方法を模索していく。</p>				
基本施策評価 (総合評価)	S	(A)	B	C	D
評価理由	一部項目に課題は残るものの、各事業とも、数値目標の達成状況と、内容的な前進を勘案し、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	<p>スクールソーシャルワーカー、フレンドリールームについては、近年の取組による成果が出てきているが、更なる体制強化を含めた支援の拡充を望む。</p> <p>I C T 技術を活用して、不登校及びいじめの未然防止対応の取組を推進してほしい。</p>				

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	米子市小中一貫教育推進事業	<p>【令和2年度目標】 中学校区での取組のさらなる充実を図るとともに、情報共有・情報発信を行う。特に、児童生徒の自主的・自発的な取組を重点的に推進する。</p>	<p>【取組状況】 中学校区において小・中学生によるリーダー研修会を定期的に関することで、児童生徒の自主的・自発的活動のより一層の充実を図った。</p>	
①心の教育の充実	義務教育9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。	<p>【改善方法】 中学校区において小・中学生によるリーダー研修会を定期的に関することで、児童生徒の自主的・自発的活動のより一層の充実を図る。</p>	<p>【成果】 コロナ禍において集合研修が難しい状況であったが、年間1回の校区リーダー研修会を実施した。中学校生徒会が校区の3小学校であいさつ運動に取り組むなど、自主的・自発的な活動が定着している。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】 中学校区で取組を共有し、情報発信したことで、効果的な実践となった。引き続き、自主的・自発的な取組を推進していく。</p>	<p>【課題】 中学校区においてリーダー研修会の取組が定着してきた。今後は、リーダー研修会の学びを、各学校の自主的・自発的な取組へと一層広げていきたい。</p>	
		<p>【数値目標】 中学校区において、小・中学生合同のリーダー研修会を、年間2回以上開催する。</p> <p>【前年度の実績値】 ※数値目標の項目を変更。</p>	<p>【数値目標の実績値】 ○小・中学生合同のリーダー研修会の回数 1回</p>	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	人権教育推進事業	<p>【令和2年度目標】 人権教育の現状と課題を反映した「米子市人権教育基本方針・米子市人権教育推進プラン【第2次改訂】」と「同和問題学習資料集」を作成する。</p>	<p>【取組状況】 市役所各課や関係団体等と連携を図りながら、人権教育に係る今日的な課題の把握に努めた。また、資料集作成では、資料を活用した授業実践にも取り組みながら、学習効果の検証に努めた。</p>	◎
②人権教育の充実	<p>「米子市人権教育基本方針・米子市人権教育推進プラン【第2次改訂】」と「同和問題学習資料集」を作成し、関係機関に配布することによって、人権教育の一層の推進を図る。</p>	<p>【改善方法】 市役所各課や関係団体等と連携を図りながら、人権教育に係る今日的な課題の把握に努める。</p>	<p>【成果】 今日的な人権課題に沿った「米子市人権教育基本方針・米子市人権教育推進プラン【第2次改訂】」と「同和問題学習資料集」が完成し、関係機関に配布した。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】 学力の定着と良好な人間関係作り、基本的な生活習慣の定着といった共通のねらいをもって研究を進めた結果、校区の小・中学校ともに、全国学力学習状況調査の質問紙調査における「自尊感情」に関する項目で、全国平均を上回った。基本的な生活習慣の乱れが様々な面に影響を与え、自尊感情の低下を招いていると思われる事例も散見される。家庭への啓発や協力要請をいかに行うかも課題である。</p>	<p>【課題】 「米子市人権教育基本方針・米子市人権教育推進プラン【第2次改訂】」と「同和問題学習資料集」の配布に留まることなく、内容の周知に努め、効果的に活用されるよう関係機関への働きかけを進めたい。</p>	
		<p>【数値目標】 「米子市人権教育基本方針・米子市人権教育推進プラン【第2次改訂】」と「同和問題学習資料集」を作成し、関係機関に配布する。進捗率100%</p> <p>【前年度の実績値】 ※数値目標の項目を変更。</p>	<p>【数値目標の実績値】 作成・配布進捗率100%</p>	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策 主な取組	2 事務事業名 概要	3 令和2年度目標 改善方法と数値目標	4 取組状況及び成果	5 個別 事業評価
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子ども育成	スクールソーシャルワーカー活用事業	<p>【令和2年度目標】 SSWrが学校と家庭、関係機関との連絡調整を行い、福祉的な視点に基づいたアセスメントやプランニングにより多様な支援を実施し、児童生徒の問題行動等の未然防止や軽減、改善、解消を図る。</p>	<p>【取組状況】 各学校からの多様な相談事案に対して、継続的に対応した。 定期的にスーパーバイザーと協議し、助言をもとに困難なケースの支援を行った。</p>	
③生徒指導の充実	課題のある児童生徒に対し、福祉的な視点で多様な支援を行うために、スクールソーシャルワーカー(SSWr)を継続的に配置・活用する。	<p>【改善方法】 各学校での定例会等において、情報共有を行うとともに、関係機関との連携を強化する。 学校の支援チームにSSWrが直接関わり、早期対応や役割分担等の支援体制の強化を図る。 状況に応じてSSWrが直接家庭や保護者に関わり、保護者と学校の関係の改善を図る。</p>	<p>【成果】 SSWrが中学校の生徒指導部会へ参加し、機関連携の重要性について周知することができた。 SSWrと学校、保護者が不登校児童生徒への支援について定期的に話し合った結果、好転した事案があった。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】 相談ケースについて福祉的視点で連携を進める中で、アセスメントに基づいた的確な支援を行うことができた。従来の間接的支援だけでなく、直接的支援による対応ケースも増えたことにより、スクールソーシャルワーカーが現認確認をしたり、継続的な支援を行ったりすることで、早期支援につながった。 アセスメントの遅れが課題となっている。予防的な取組としての対応ができていない事案や、不登校のケース等については、対応について試行錯誤したり、支援を修正したりする必要があることから時間がかかってしまう事案もある。</p>	<p>【課題】 校内での役割分担や機関連携を行うタイミング等、さらなる早期対応や早期支援を講じるために、校内体制の構築を進める必要がある。</p>	◎
		<p>【数値目標】 ①SSWrの配置数を維持する。 R元…SSWr3名、スーパーバイザー2名 ②定例会及びケース会議を実施する。 ③支援の対象となった生徒のうち、状況が好転するケース(※)…60%以上</p> <p>※好転ケース例 ・アセスメントに基づいた情報整理を行い、プラン策定に至った。 ・関係機関と家庭につながった。 ・SSWrと家庭につながった。 ・学校が保護者と連絡が取れるようになった。 ・児童生徒の出席数が増えた。 …等</p>	<p>【数値目標の実績】 ①SSWrの配置数 SSWr3名、スーパーバイザー2名 ②定例会及びケース会議を実施した。 ③100%</p>	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
I-1豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	いじめ・不登校対応	<p>【令和2年度目標】 中学校区での安心・安全な学校づくりの取組をさらに充実させ、アセスメントに基づいた組織的な対応を行うことにより、いじめの未然防止、早期発見・対応及び不登校の減少につなげる。</p>	<p>【取組状況】 コロナ禍において実施可能な範囲で、中学校区で児童生徒による安心・安全な学校づくりの取組を進めた。 フレンドリールームやスクールソーシャルワーカー等を活用し、不登校やいじめ、問題行動等の状況改善を図った。</p>	
③生徒指導の充実	<p>小中連携、機関連携を一層推進して、不登校の児童生徒数の減少に努める。また、「米子市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期解決ができるように各学校での教職員の意識向上を図り、指導を行う。</p>	<p>【改善方法】 自治の取組を充実させるために、小中サミット等、児童生徒や教職員が交流する機会を設定する。また、校内支援体制の充実及びスクールソーシャルワーカーや米子フレンドリールーム等の関係機関との連携を一層充実させるために、アセスメントの在り方について研究を進める。</p> <p>【前年度の成果・課題】 小学校と中学校の教員交流が進んだこともあり、小学校においても自治の取組が浸透し、「全ての児童生徒が安心・安全に生活できる学校をつくろう」という風土が醸成され、委員会活動を中心に、児童生徒が主体となった活動が展開された。 中学校区における小学校不登校児童数はわずかであるが増加しており、今後、中学校生活へ影響も懸念される。アセスメントを行いながら状況の改善を図っていく必要があると考える。</p> <p>【数値目標】 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査において、不登校児童生徒数の割合が参考値を下回る。 ＜参考値＞ R元 全国平均値 ・中学校3.9%</p>	<p>【成果】 11月開催の中学校代表生徒交流会で協議した内容を各中学校区に広げ、各校の児童生徒リーダー育成を進めることができた。 アセスメントに基づいた不登校児童生徒への早期対応、早期支援の体制整備を推進した。不登校支援についてのICT活用について、取組の充実を検討した。</p> <p>【課題】 コロナ禍により小中サミットは中止せざるを得なかった。今後、ICT活用も含め、開催方法を検討する必要がある。 多様化・複雑化する不登校の状況を改善するために、市全体として抜本的な方法を模索していく必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】 令和2年度の不登校児童生徒数の割合は、参考値を下回った。</p>	◎

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	不登校・いじめ対策事業(フレンドリールーム事業)	【令和2年度目標】 不登校児童生徒の生活リズム改善、学習の習慣化、コミュニケーション力育成等、学校復帰に向けた取組を行い、不登校状態の軽減や改善、解消を図る。	【取組状況】 2名の指導員を配置し、在籍校と適宜連携を図り、学校復帰をめざす児童生徒に対して学習支援を行ったり、指導員や他の児童生徒とかかわる活動を通してコミュニケーション力を高める活動を実施したりした。	
③生徒指導の充実	適応指導教室を設置し、不登校児童生徒を受け入れ、学習支援等、社会自立に向けた取組を行う。	【改善方法】 2名の非常勤職員を配置し、保護者や在籍校(管理職等)と情報を共有し、生徒の状況把握に努め、適切な支援を行う。 年度初めに学校復帰が多くなるのに合わせ、3月~4月に学校と連携して登校チャレンジ期間を設定して、学校復帰に向けた働きかけを行う。	【成果】 入級した生徒がフレンドリールームへ通うことで生活リズムの改善が図られ、学習や活動に参加することができるようになった。また、在籍する生徒が新年度から学校復帰することにつながった。	
		【前年度の成果・課題】 入級後、フレンドリールームへ通うことで生活リズムが改善し、学習や活動に参加することができるようになった。 また、学習への支援により、希望する進路先へ進むことができた。 3月の学校復帰に向けた登校チャレンジ期間の設定だけでなく、学校復帰に向けたプログラムについて検討していく必要がある。	【課題】 米子市全体として、米子フレンドリールームのニーズが年々高まってきており、通級児童生徒数が増加している。今後も増加が想定されるため、支援体制を検討していく必要がある。 自己を振り返る年度末アンケート結果を指導に活かしたり、登校チャレンジ期間を児童生徒の状況に応じて個別に設定したりするなど、適切な支援や学校復帰に向けた取組について引き続き検討していく。	
		【数値目標】 ①年度末(2月下旬)に行うアンケートで肯定的な評価をした児童生徒の割合が65%以上。 ②年度末までに登校チャレンジを行う児童生徒の割合が50%以上。 ③中3の生徒の80%以上が希望する進路へ進むことができる。 【前年度の実績値】 ②R元 40% ③R元 100%	【数値目標の実績値】 ①アンケート結果 肯定的な回答が数値目標を上回った。 ②登校チャレンジはできなかったが、学校、本人・保護者、米子フレンドリールームが連携して準備を進めたことにより、4月から学校復帰した。 ③該当生徒なし	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
I-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	米子市ふるさとキャリア教育推進事業	<p>【令和2年度目標】</p> <p>様々な学習の中で、生徒が、家庭・地域とのつながりを実感し、自らが暮らす「ふるさと米子」に誇りや愛着を持ち、自信を持って自己実現に向かうことができるようになる。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>中学校において、ふるさとキャリア教育を年間計画に位置付け、生徒一人一人が「キャリア・パスポート」を作成し、記録を残した。</p>	
④キャリア教育の充実	ふるさとに誇りを持ち、生きる基盤を培う「ふるさと教育」とその基盤の上に立ち、自らの生き方の道筋を描く「キャリア教育」とを相互に関わらせ、「ふるさとキャリア教育」として位置付け、各教科等を横断した教育活動を行う。	<p>【改善方法】</p> <p>中学校において、令和元年度までに行ってきた「ふるさと教育」と「キャリア教育」の計画を、「ふるさとキャリア教育」の視点で編み直し、一貫した教育ができるように計画を立て、生徒一人一人が「キャリア・パスポート」を作成・活用する。また、よりよい活用方法について、米子市立小中学校において共有する。</p> <p>【前年度の成果・課題】</p> <p>小中一貫した「ふるさとキャリア教育」の計画を立てることができた。また、小中の児童生徒の交流が継続的に行われることで、小学校での経験が、中学校生活においても活かされ、生徒会等で活躍する場面が増え、自分の将来に目標を持つ生徒の割合が増えた。今後は、「ふるさとキャリア教育」の一層の推進及び改善を図る必要がある。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①「ふるさとキャリア教育」の年間指導計画の作成又は各教科等の年間指導計画に位置付ける。</p> <p>②キャリア・パスポートを全学年で作成する。</p> <p>【前年度の実績値】</p> <p>※全国学力学習状況調査質問紙調査において、将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合 令和元年度 73.7%</p>	<p>【成果】</p> <p>中学校において、ふるさとキャリア教育の年間指導計画等の見直しを行い、授業等で実践できた。また、「キャリア・パスポート」を作成し、学びの記録を残すことができた。さらに、その活用方法について、県主催の研修等を通じて共有することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>今年度、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域に出かけて行う学習や、職場体験学習などが実施できなかった。コロナ禍でも実施できる方法を検討する必要がある。</p> <p>また、来年度以降の「キャリア・パスポート」の活用にあたっては、前年度の記録を生かしながら学習を進めていく必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】</p> <p>①年間指導計画を作成した。</p> <p>②全学年で作成した。</p>	



令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成	米子市小中一貫教育推進事業	<p>【令和2年度目標】 環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境問題を自分と関係づけながら持続可能な社会の実現を目指し、よりよい環境づくりのために配慮した行動をとることができる実践力を育成する。</p> <p>【改善方法】 リサイクル活動、ゴミの分別や削減等、環境保全に係る取組を実施する。</p>	<p>【取組状況】 リサイクル活動、ゴミの分別や削減等、環境保全に係る取組を実施した。</p> <p>【成果】 委員会活動を中心に、ゴミの分別活動やペットボトルのキャップ回収を行った。</p>	
⑤環境教育の充実	義務教育の9年間の学びを連続したものととらえ、各中学校区で「めざす子ども像」を共有し、内容を系統化したり、指導を継続化したりすることによって、学校教育における課題を解決し、確かな学力の定着や豊かな人間性と創造力の育成を図る。	<p>【前年度の成果・課題】 美化委員会を中心にペットボトルのキャップ回収やゴミの分別・削減等の呼びかけやポスターでの啓発等、自主的に行った。 今後、更なる取組の充実を図るため、PDCAサイクルを意識しながら目的を明確にし、取組を進めていく必要がある。</p>	<p>【課題】 委員会活動としてだけではなく、SDGs(持続可能な開発目標)の環境に関連した学習と具体的な活動を連動して進めるなど、生徒の意識を高めていく工夫が必要である。</p>	
		<p>【数値目標】 ①学校でリサイクル活動等の環境保全に係る取組を行う。</p>	<p>【数値目標の実績値】 ①学校でリサイクル活動等の環境保全に係る取組を行った。</p>	





令和 3 年度実施  
令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	2-1	
	項目名	確かな学力を身につけた子どもの育成	
	概要	<p>「生きる力」を育むためには、知識・技能や思考力・判断力・表現力、学習意欲などの確かな学力の育成が必要である。習得した知識を活用する力を伸ばすことや計画的な家庭学習の定着などに課題がある。</p> <p>そこで、今後は、全教育活動を通して育む学力形成、子ども一人一人に応じたきめ細かな指導、小中学校で連携した教育、家庭との連携などに取り組む。</p>	
所管	学校教育課 指導担当		
主な取組 (事務事業名)	番号	事務事業名	個別事業評価
	①	学力の向上を図る学びの充実	○
	②	特別支援教育の充実	◎
	③	外国語活動・英語教育の充実	◎
	④	図書館教育の充実	○
	⑤	情報教育の充実	◎
取組状況の総括	<p>【成果】 GIGA スクール構想実施に向けて、研修会に積極的に多数参加し、準備をしっかりと行うことができた。学校支援員を配置することで、関わった生徒の状況が好転した。ALT を活用した授業やイングリッシュパークの開催等、英語教育の充実に向けて取り組むことができた。</p> <p>【課題】 学力の安定的な向上、定着に向けて、引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>【改善策】 家庭での学習習慣の定着率をさらに上げていくために、家庭学習の習慣化を図る取組を、引き続き学校と連携しながら推進していく。</p>		
基本施策評価 (総合評価)	S      (A)      B      C      D		
評価理由	一部の項目に課題は残るものの、特別支援教育や外国語活動・英語教育、情報教育の数値目標の達成状況などを勘案し、この評価とした。		
教育委員の 意見・指摘	<p>学力・学習状況調査の結果は、実績向上に努め成果を出す必要がある。また、情報モラル教育は、SNS 等のトラブルなどがあるので、より掘り下げて取り組むこと。</p> <p>イングリッシュパークの取組は良いことなので、今後も継続してほしい。</p>		

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1確かな学力を身につけた子どもの育成	学力診断テスト	<p>【令和2年度目標】 学力診断テストの結果を分析し、課題の解決に向けて指導方法の工夫改善を図る。</p>	<p>【取組状況】 授業力向上講座を実施し、授業改善の視点で指導助言を行った。小学生に実施した各種学力調査の結果を分析し、情報共有を行った。</p>	
①学力の向上を図る学びの充実	中学校3年生に対して学力診断テストを実施し、その結果を分析することにより課題解消に向けての取組を行う。	<p>【改善方法】 授業力向上講座を実施するとともに授業改善の視点で指導助言を行う。市内小学生に実施する各種学力調査の結果を分析し、校長会等を通して課題を共有する。</p>	<p>【成果】 1月に実施した学力調査で、県立高校入試の過去5年間の平均点を上回った。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、「学校の授業時間以外に平日1時間以上学習している児童生徒の割合」が参考値を上回った。 「各調査教科の学力」について、国語は全国平均正答率とほぼ同値であった。 数学と英語が全国平均正答率を下回っていた。</p>	<p>【課題】 県立高校入試の平均点は上回ったものの、合計点の6割に達していないことが課題と言える。</p>	
		<p>【数値目標】 1月に実施する学力診断テストで、鳥取県立高校入試の過去5年間の平均点(140.8点)を上回る。  (令和2年度は、全国学力・学習状況調査が実施されないため、学力診断テストを指標とする。)</p>	<p>【数値目標の実績値】 学力診断テストにおいて、県立高校入試の過去5年間の平均点を上回った。</p>	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	にこここサポート支援事業	<p>【令和2年度目標】 学校や生徒の状況を把握し、学校支援員を配置するとともに、支援が必要な児童生徒に対して適切な支援を行う。</p>	<p>【取組状況】 学校支援員を中学校に配置し、支援が必要な生徒の実態に合わせ、支援を行った。支援の必要な生徒の実態調査を行い、次年度の配置について検討をした。研修を1回行い、適切な支援の方策を共有した。</p>	
② 特別支援教育の充実	学校や児童生徒の状況に応じて学校支援員を配置し、通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒をはじめとする支援の必要な児童生徒に対して、支援を行う。	<p>【改善方法】 支援の必要な生徒に対して、支援計画を担任と協力しながら立てたり、支援に必要な教材等の準備を行ったりする。</p> <p>【前年度の成果・課題】 通常学級に在籍する発達障がいの可能性のある生徒をはじめとする支援の必要な生徒に対して、学級担任の指示を受けて支援や援助などを実施することで、個のニーズに応じた手立てを講じ、学力向上に貢献した。今後は、さらなる研修の充実を図り、支援の質の向上を図る必要がある。</p> <p>【数値目標】 ① 学校支援員の配置数 1 名 &lt;前年度配置数&gt; 1 名 ② 研修会開催回数… 1 回 ③ 学校支援員が関わり、状況が以下のように好転する生徒が 1 名以上いる。</p> <p>好転ケース例 ・ 授業に集中して取り組めるようになった。 ・ 基礎学力が向上した。 ・ 人間関係が好転した。 …等</p>	<p>【成果】 学校支援員の関わった生徒の状況が好転した。</p> <p>【課題】 学校支援員の配置が年度途中からとなった。より計画的に人材を確保し、年度当初から支援にあたれるようにしたい。また、米子市立小・中学校配置の支援員を含め、より実態に即した配置を検討する必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】 ① 配置数 1 名 (年度途中からの配置) ② 研修会開催回数… 1 回 ③ 好転した生徒が 1 名以上 (好転した例) 学習中、コミュニケーションが苦手な生徒が困っている時に、支援員が適切に対応することで、学習を円滑に進めることができた。そのことにより、生徒が学習に意欲的に取り組んだ。</p>	◎

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
 米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1 確かな学力を身につけた子どもの育成	英語指導助手活用事業	<p>【令和2年度目標】                      生徒の外国語に係る資質・能力の育成及び諸外国の多様な生活や文化の理解・尊重のために中学校における外国語活動及び外国語(英語)科の指導体制の充実を図る。</p>	<p>【取組状況】                      中学校での外国語活動・外国語(英語)科の時間に活用した。また、校区内の米子市立小学校へ同じALTを配置し、外国語(英語)教育における小中連携を充実させる。</p>	
③外国語活動・英語教育の充実	英語指導助手(以下ALT)を小・中学校に配置し、外国語活動・外国語(英語)科の時間に活用し、児童生徒の外国語に係る資質・能力の育成に努めるとともに、諸外国の多様な生活や文化を理解し、尊重する態度を育成する。	<p>【改善方法】                      中学校での外国語(英語)科の時間に活用する。また、校区内の米子市立小学校へ同じALTを配置し、外国語(英語)教育における小中連携を充実させる。                      イングリッシュパーク(ALT・県配置の外国語、外国語活動支援員・教職員合同の研修会)等の新たな教員研修に活用する。</p> <p>【前年度の成果・課題】                      委託業者によりALTを配置し、質の高い外国語の指導が実現した。</p> <p>【数値目標】                      ①全学級におけるALTによる授業の実施                      ②指導者研修会(イングリッシュパーク)の開催(年1回)</p>	<p>【成果】                      コロナ禍においても、委託業者によりALTを配置し、質の高い外国語の指導が実現した。</p> <p>【課題】                      令和3年度から中学校においても新学習指導要領が全面实施される中、小・中学校ともに「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたより質の高い指導を行っていく必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】                      ①全学級においてALTを活用した授業を実施した。                      ②指導者研修会(イングリッシュパーク)を1回開催した。</p>	◎

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1確かな学力を身につけた子どもの育成	図書館教育の充実事業	<p>【令和2年度目標】 学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を充実させ、読書活動のみならず、各教科での利活用を図る。</p>	<p>【取組状況】 学校司書を対象とした研修を年間6回、司書教諭を対象とした研修を年間1回実施し、図書館教育の充実を図った。 カリキュラムマネジメントの観点から指導計画を見直した。</p>	
④図書館教育の充実	司書教諭、学校司書、地域ボランティアの連携による読書活動の充実と、学校図書館の活用による学習の充実を図る。	<p>【改善方法】 学校司書を対象とした研修を年間7回、司書教諭を対象とした研修を年間1回実施し、図書館教育の充実を図る。 カリキュラムマネジメントの観点から指導計画を見直す。</p>	<p>【成果】 感染症対策が求められる中、学校図書館の活用について工夫し、生徒の読書活動を推進した。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】 H31全国学力・学習状況調査の質問紙調査、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（10分以上）」という問いに対して、前年度を上回る結果となった。 引き続き、学校図書館の活用や家庭との連携により、生徒の読書活動を推進していくことが課題と言える。</p>	<p>【課題】 授業での学校図書館の活用や家庭との連携により、学校だけではなく、家庭での読書活動の推進が課題である。</p>	
		<p>【数値目標】 生徒一人当たりの年間貸出冊数が前年度を上回り、且つ、市の平均貸出冊数と同値または上回る。 R元年度 30冊/人 R元年度 33冊/人(市)</p>	<p>【数値目標の実績値】 生徒一人当たりの年間貸出冊数が、前年度を上回り、市の平均値とほぼ同値だった。 R2年度 31冊/人</p>	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-1 情報教育の充実	情報教育普及事業	<p>【令和2年度目標】 淀江中学校区において作成した9年間を見通したモデルカリキュラムをもとに、情報モラルカリキュラムを作成して活用することで、情報モラル教育の充実を図る。 GIGAスクール構想(1人1台端末の導入)に向けて、教職員がICT機器を積極的に活用し、学習活動の一層の充実を図る。</p> <p>【改善方法】 9年間を見通した情報モラル教育のモデルカリキュラムをもとに、カリキュラムの作成を行い、情報モラル教育の充実を図る。 授業等で積極的にICTを活用するため、教職員を対象としたタブレット端末を体験する研修会を実施する。</p>	<p>【取組状況】 9年間を見通した情報モラル教育のモデルカリキュラムをもとに、カリキュラムの作成を行い、情報モラル教育の充実を図った。 授業等で積極的にICTを活用するため、教職員を対象としたタブレット端末を体験する研修会を実施した。</p> <p>【成果】 情報モラルカリキュラムを活用し、学習を進めている。 タブレット端末の研修会には、多くの教職員が受講し、基本的な活用法について共通理解を図った。</p>	
⑤情報教育普及事業	<p>小・中学校における情報モラル教育の推進について情報モラルカリキュラムの見直しを行ったり、新たに作成したりするなど、関係機関と連携して取り組む。 GIGAスクール構想を見据え、教職員の情報機器活用能力の向上に努める。</p>	<p>【前年度の成果・課題】 小・中学校で連携しながら、年間指導計画の見直しを進めていく必要がある。また児童生徒が使用する情報端末も多様化し、アプリ等も次々に新しいものが出てきているので、最新の情報を教員が知る必要がある。</p> <p>【数値目標】 ①情報モラルカリキュラムを作成し、活用する。 ②米子市GIGAスクール構想に係るタブレット端末の研修会参加人数…3名</p>	<p>【課題】 コロナ禍により、保護者を対象とした研修会の開催できなかった。オンラインで研修するなどの工夫が必要である。 タブレット端末の研修において、教職員の操作能力に大きな差があり、理解にも差があることが分かった。今後は、能力別の研修会を開催するなどの手立てが必要である。</p> <p>【数値目標の実績値】 ①情報モラルカリキュラムを作成して活用しながら系統的に学習を進めた。 ②R2年度 26名</p>	



令和 3 年度実施  
令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	2-2			
	項目名	安全で安心な学校施設の改善			
	概要	<p>老朽化が進行している学校施設の大規模改修を実施し、教育環境の改善と施設の長寿命化を図る。</p> <p>また、地震等の災害発生時に生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難所としての役割を果たすため、非構造部材の耐震化に努める。</p>			
所管	教育総務課 学校管理担当				
主な取組 (事務事業名)	番号	事務事業名		個別事業評価	
	①	学校施設整備（改修）事業		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 学校施設整備（改修）事業については、計画どおりに進捗を図ることができた。</p> <p>【課題】 管理・普通教室棟は、築30年以上経過し、老朽化が進行していることから、大規模改修等の老朽化対策の推進が必要である。</p> <p>【改善策】 生徒の安全に関わるもの、授業に影響を及ぼすものを最優先に対応する。</p>				
基本施策評価 (総合評価)	S	(A)	B	C	D
評価理由	<p>屋上防水改修工事については計画どおり完了したが、老朽化の進行に伴う対応は引き続き必要であることから、この評価とした。</p>				
教育委員の 意見・指摘	<p>老朽化対策は重要な課題であり、大規模改修、修繕の計画については、前倒し的に進めて行ってほしい。</p>				

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-2 安全で安心な学校施設の改善	学校施設整備(改修)事業	【令和2年度目標】 管理・普通教室棟屋上防水改修	【取組状況】 生徒の安全に関わるもの、授業に影響を及ぼすものを最優先に対応した。	
①学校施設整備(改修)事業	児童生徒の安全に関わるもの、授業などに影響を及ぼすもの、及び施設を維持する上で必要なもの等の整備(改修・増築)を行う。	【改善方法】 生徒の安全に関わるもの及び授業に影響を及ぼすものを最優先に対応する。	【成果】 管理・普通教室棟屋上防水改修を計画通り実施した。	
		【前年度の成果・課題】 生徒の安全に関わるもの、授業などに影響を及ぼすものを優先に対応するとともに、管理・普通教室棟外壁改修を計画通り実施した。	【課題】 管理・普通教室棟は、築30年以上経過し、老朽化が進行していることから、大規模改修等の老朽化対策の推進が必要である。	
		【数値目標】 実施率100%	【数値目標の実績値】 実施率100%	
		【前年度の実績値】 実施率100%		





## 令和 3 年度実施

## 令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	2-4			
	項目名	学校のICT環境の整備			
	概要	ICT機器の利用が生徒の学習への興味関心を高め、教え合い学び合う協働学習にも有効と考えられることから、段階的にインフラ、ICT機器の整備を行い、併せて学校業務支援システムの導入と活用により、教育の情報化の推進を図る。			
所管	教育総務課 学校管理担当				
主な取組 (事務事業名)	番号	事務事業名	個別事業評価		
	①	ICT機器整備事業	◎		
取組状況の総括	<p>【成果】 生徒1人1台端末整備及びネットワーク環境整備について、令和3年3月末までに計画どおり完了することができた。</p> <p>【課題・改善策】 生徒のICT活用に係る学習環境の安定した運用を行うとともに、全教職員向けのICT活用に関する研修を実施し、授業の充実による生徒の学力向上を図る。</p>				
基本施策評価 (総合評価)	◎	A	B	C	D
評価理由	生徒1人1台端末整備及びネットワーク環境整備について、全国的な課題であった機器の調達の手配等もでき、また、受注業者及び学校の全面的な協力のもと、困難であると思われた令和3年3月末までの整備を完了することができたことから、この評価とした。				
教育委員の 意見・指摘	<p>全生徒にタブレット端末を整備できたことと同時に、教職員を対象としたICT活用に関する研修を計画実施したことも大いに評価できる。</p> <p>ICT活用に関する研修については、今後ともレベルアップのための研修を引き続き実施すること。</p>				

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-4 学校のICT環境の整備	学校施設維持管理事業	<p>【令和2年度目標】 生徒1人1台端末整備及びネットワーク環境整備等について、令和3年3月末まで完了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末整備</li> <li>・ネットワーク環境整備</li> <li>・充電保管庫の設置</li> </ul> <p>【改善方法】 生徒のICT活用に係る学習環境の安定した運用を行うとともに、全ての教職員向けのICT活用に関する研修を実施し、授業の充実による生徒の学力向上を図る。</p>	<p>【取組状況】 生徒のICT活用に係る学習環境の安定した運用を行うとともに、全ての教職員向けのICT活用に関する研修を実施し、授業の充実による生徒の学力向上を図る。</p> <p>【成果】 生徒1人1台端末整備及びネットワーク環境整備を順次行い、令和3年3月末までに計画どおり整備を完了することができた。</p>	◎
① ICT機器整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育用パソコン等の再整備</li> <li>教育用パソコン等の機器の更新、タブレット端末等の整備、及び無線LAN機器の増強等を進める。</li> </ul>	<p>【前年度の成果・課題】 学校のICT機器活用の現状や、実際に学校が求めている環境等について、確認することができた。 最適なICT機器等の配備を行うためには、様々な課題に取り組む必要がある。</p>	<p>【課題】 生徒1人1台端末整備の完了に伴い、ICT機器を活用した授業の充実による生徒の学力向上を図る必要がある。</p>	
		<p>【数値目標】 実施率100%</p> <p>【前年度の実績値】 選定委員会開催回数 6回</p>	<p>【数値目標の実績値】 実施率100%</p>	

令和 3 年度実施  
令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	2-5			
	項目名	通学路の安全確保			
	概要	児童生徒が安全に安心して通学するため、米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して危険箇所 の安全対策を推進し、通学路の安全確保を図る。			
所管	教育総務課 教育企画室				
主な取組 (事務事業名)	番号	事務事業名		個別事業評価	
	①	通学路の安全確保に係る連絡協議会と合同点検の実施		○	
取組状況の総括	<p>【成果】 関係機関が連携して対策の進捗状況等を確認し、道路設備の設置や学校での交通安全指導等の交通安全対策を進めた。今年度は学校による通学路の点検を行ったものの、今年度新規危険箇所は認められなかったため、合同点検は実施しなかった。</p> <p>【課題】 危険箇所の一部にハード対策が困難な場所もあり、通学路の変更等、ソフト対策も含めて総合的に児童生徒の安全を確保する必要がある。</p> <p>【改善策】 交通安全をはじめ、通学路の総合的な安全対策を進めることで、児童生徒のさらなる安全確保策を充実する。</p>				
基本施策評価 (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由	交通安全対策の取組は、順調に進捗し、引き続き通学路沿いのブロック塀など防災の観点の危険箇所の対策を推し進めている。				
教育委員の 意見・指摘	重要な課題であり、引き続き通学路の交通安全のため、点検実施からのハード対策及びソフト対策をしっかりと実施すること。				

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-5 通学路の安全確保	通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施	【令和2年度目標】 連絡協議会を開催して、全ての新規危険箇所の点検を行う。	【取組状況】 ・連絡協議会(参加者:学校代表、警察、道路管理者、教育委員会事務局)を開催した。 ・今年度の学校による通学路の点検を行ったものの、今年度新規の危険箇所は認められなかったため、合同点検は実施しなかった。	
①通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施	米子市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して合同点検を実施し、安全対策を推進する。	【改善方法】 交通安全をはじめ、通学路の総合的な安全対策を進める。	【成果】 ・関係機関が連携して対策の進捗状況等を確認し、道路設備の設置や学校での交通安全指導等の交通安全対策を進めた。	
		【前年度の成果・課題】 ・連絡協議会(参加者:学校代表、警察、道路管理者、教育委員会事務局)を開催し、通学路の危険箇所の合同点検で、全ての新規危険箇所3箇所を点検した。 【成果】 ・関係機関が連携することで多角的な交通安全対策を検討し、学校における児童生徒の交通安全指導に活用した。 ・危険箇所の現場を確認し、ハード面とソフト面から実施可能な対策を協議し、状況に応じた効果的な対策を行った。	【課題】 通学路の交通安全及び防災の安全対策に加え、防犯の危険箇所について関係機関と連携して安全確保を図る。	○
		【数値目標】 連絡協議会を開催して、全ての新規危険箇所の合同点検を行う  【前年度の実績値】 連絡協議会開催を開催して、全ての新規危険箇所の点検を行った 3箇所	【数値目標の実績値】 連絡協議会を開催した。 学校による通学路点検を行ったものの、今年度新規危険箇所は認められなかった。	

令和 3 年度実施  
令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	2-6			
	項目名	学校図書館の充実			
	概要	心豊かな感性を育み、自ら学ぶ力を育む子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点であり、蔵書数の充実に加えて、生徒に本の読み聞かせや朝読書などで、読書への興味を醸成するとともに親しめる図書館づくりに努める。			
所管	教育総務課教育企画室				
主な取組 (事務事業名)	番号	事務事業名		個別事業評価	
	①	学校図書館運営事業		◎	
取組状況の総括	<p>【成果】 夏季休業期間（前後も含む）の取組を増やした結果、全体的な貸出冊数の増加につながった。 来館者も増え、読書に親しむ機会を確保することができた。</p> <p>【課題】 夏季休業期間中の開館日をより一層増やすことで、生徒の学習の場を提供するとともに貸出冊数の増加に繋げる。 学校司書・司書教諭が連携し、教職員の教材準備への援助・協力を行うことにより、授業での学校図書館利用の増加を図る。</p> <p>【改善策】 プール開放日等に合わせて開館することで、来館者の利便性を向上する。 授業活用に必要な資料及び多様な資料の充実を図ることで教職員が学習計画を立てる参考になるよう学校司書がサポートする。</p>				
基本施策評価 (総合評価)	S	Ⓐ	B	C	D
評価理由	<p>夏季休業期間（前後も含む）の取組を増やした結果、全体的な貸出冊数の増加に繋がった。 来館者も増え、読書に親しむ機会を確保することができた。</p>				
教育委員の 意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。				

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
2-6 学校図書館 の充実	学校図書館運 営事業	【令和2年度目標】 夏季休業期間の開館により、生徒の読書量を増加させるとともに、質の向上した読書習慣を定着させる。 また、学習の場としての利用や自由研究の相談により、主体的・対話的で深い学びの実現へつなげる。	【取組状況】 夏季休業期間の取組として、開館日を増やし、貸出冊数の上限も増やした。自由研究に活用できる資料を市立図書館と連携して準備した。 また、年間を通して定期的に「家読」の日を設け家庭での読書習慣をつけるように努めた。	
①学校図書館運営事業	学校図書館は、心豊かな感性を育み、自ら学ぶ力を育む子どもたちの健全育成と学習支援を行う重要な拠点であり、蔵書数の充実に加えて、児童生徒に本の読み聞かせや朝読書などで、読書への興味を醸成するとともに親しめる図書館づくりに努める。	<p>【改善方法】 夏季休業期間に学校図書館を開館し読書活動及び学習活動を充実することで、生徒の読解力を高め学力の向上を図るとともに、自由研究等とおして情報活用能力をさらに育成する。</p> <p>【前年度の成果・課題】 国語の授業で本の紹介をするなど新たな取組を増やした結果、全体的な貸出冊数の増加につながった。 令和2年度より学校司書を通年雇用とし夏季休業中の図書館を開館することとなった。 継続した読書習慣を維持するため、読書に親しませる活動を夏季休業の前後にも取組むことで、貸出冊数の増加に繋げる。</p> <p>【数値目標】 ○生徒1人当たりの年間貸出冊数 30冊/人</p> <p>【前年度の実績値】 ○生徒1人当たりの年間貸出冊数 30冊/人 ・年間貸出冊数 14,006冊 ・生徒数 457人</p>	<p>【成果】 夏季休業期間（前後も含む）の取組を増やした結果、全体的な貸出冊数の増加に繋がった。 来館者も増え、読書に親しむ機会を確保することができた。</p> <p>【課題】 夏季休業期間中の開館日をより一層増やすことで、生徒の学習の場を提供するとともに貸出冊数の増加に繋げる。 学校司書・司書教諭が連携し、教職員の教材準備への援助・協力を行うことにより、授業での学校図書館利用の増加を図る。</p>	◎

## 令和 3 年度実施

## 令和 2 年度事務の管理及び執行状況の点検・評価（基本施策）

米子市日吉津村中学校組合教育委員会

基本施策	番号	4-1	
	項目名	健康でたくましく、命を大切にする子どもの育成	
	概要	<p>子どもを取り巻く生活環境の急激な変化などの要因により、体力・運動能力の低下、二極化傾向、外的要因による健康被害など、体力向上や健康の保持増進に係る問題が喫緊の課題となっている。また、多様化する現代的課題に対して、子どもの安全・安心に対する懸念が広がっている。さらに、命の重みに対する感受性が弱まっていることも指摘されている。</p> <p>こうしたことから、小中学校が連携して、子どもの体力・運動能力の向上、健康で安全な生活、自他の命を大切にする態度や実践力の育成に努める。</p>	
所管	学校教育課 指導担当		
主な取組 (事務事業名)	番号	事務事業名	個別事業評価
	①	体力・運動能力の向上を図る取組の充実	○
	②	健康教育の充実	◎
	③	いのちの教育の充実	◎
	④	安全教育の充実	◎
取組状況の総括	<p>【成果】 運動部活動指導員・外部指導者の配置を充実させることができた。専門機関等と連携しながら健康教育の充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 コロナ禍における専門機関等との一層の連携、外部講師の招聘等の方法を模索していく必要がある。また、体力・運動能力向上を図っていく必要がある。</p> <p>【改善策】 リモート等の方法と、内容を工夫しながら実施していく。体力・運動能力の向上については、種目ごとの詳細な分析をもとにした重点的な取組を進めていく。</p>		
基本施策評価 (総合評価)	S      (A)      B      C      D		
評価理由	各事業における数値目標の達成状況を勘案し、この評価とした。		
教育委員の 意見・指摘	特段の意見及び指摘事項なし。		

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1健康でたくましく、命を大切に する子どもの 育成	体力・運動能力向上事業	【令和2年度目標】 運動する機会を増やしたり、充実させたりすることによって、生徒の運動意欲、体力・運動能力の向上に努める。	【取組状況】 中学校の部活動の実態を把握し、部活動指導員、運動部活動外部指導者を配置するとともに、県教育委員会と連携し研修会を実施した。	
①体力・運動能力の向上を図る取組の充実	<p>発達段階に応じた適切な運動を行ったり、運動能力を高めたりするため、指導方法の工夫改善を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上に努める。</p> <p>また、運動の楽しさや喜びを実感させることにより、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現に向けた意欲と実践力の育成に努める。</p>	【改善方法】 中学校運動部活動において、外部人材を活用することで、より専門的な指導を受け、生徒の運動意欲と体力・運動能力の向上を図る。	【成果】 部活動において外部人材の配置を進めることで、生徒がより専門的な指導を受けることができた。また、結果的に教職員の負担軽減につながった。 実技調査において、令和元年度の課題であった俊敏性の向上が見られた。	
		【前年度の成果・課題】 基本的な生活習慣の定着を推進し、「朝食を毎日とること」「睡眠時間をとること」について、肯定的な回答の割合が前年度より増加した。一方、全国体力・運動能力・運動習慣等調査において、全国平均を下回っている種目があり、体力・運動能力の向上に向けて、環境整備や指導の工夫等に一層取り組んでいく必要がある。	【課題】 部活動の外部人材のより一層の配置に向けた方策を検討する必要がある。 実技調査において、投力に依然として課題が見られ、体育の授業の工夫等をより一層進める必要がある。	
		【数値目標】 ①運動部活動の外部人材の配置数が参考値と同値または上回る。 (参考値) R元年度 運動部部活動指導員…1名 運動部活動外部指導者…1名 ②実技調査の記録が参考値を上回る。 (参考値) R元年度 反復横とび (男) 49.87点 (女) 44.33点 ハンドボール投げ (男) 19.65m (女) 12.92m	【数値目標の実績値】 ①R2年度 運動部部活動指導員…1名 運動部活動外部指導者…1名 ②R2年度 反復横とび (男) 50.06点 (女) 46.19点 ハンドボール投げ (男) 17.03m (女) 11.56m	



令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
 米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1健康でたくましく、命を大切に する子どもの育成	健康教育推進 事業	【令和2年度目標】 専門機関と連携しながら、自 他の生命を尊重し、健康に関す る知識、思考力、判断力の育成 に努める。	【取組状況】 新型コロナウイルス感染 症の感染状況を考慮しつ つ、各調査から見える課題 を各学校へ周知し、専門機 関と連携した健康教育を推 進するよう指導した。	
②健康教育 の充実	心身に様々 な影響を与 え、健康を損 なう原因とな る喫煙、飲 酒、薬物乱用 やメディア依 存などに関す る理解を深め るとともに、 健康を害する 状況に陥らな いようにする ための思考 力・判断力の 育成に努め る。また、人 間の誕生の喜 びや生きるこ との尊さを知 り、自他の生 命を尊重しよ うとする態度 や実践力の育 成に努める。	【改善方法】 生徒の実態及び取組に応じた 専門機関の活用がより一層推進 するよう、県教育委員会・校長 会等と連携しながら情報共有を 行う。  【前年度の成果・課題】 基本的な生活習慣の定着を推 進し、「朝食を毎日とること」 「睡眠時間をとること」につい て、肯定的な回答の割合が増え た。  【数値目標】 ①年1回以上、関係機関を招聘 した授業を実施する。 ②年1回以上、薬物乱用(喫 煙、飲酒を含む)防止教室を実 施する。  【前年度の実績値】 ※数値目標の項目を変更。	【成果】 警察、薬剤師、看護師、 NPO法人等の専門機関と 連携することで、児童生徒 がより専門的な指導を受け ることができた。  【課題】 健康に関する課題は多様 化しており、時代の変化や 実態に応じた内容を検討す るよう、各校へ情報提供及 び指導を行う必要がある。	



令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1健康でたくましく、命を大切にす子ども育成	自他の命を大切にす子ども育成事業	<p>【令和2年度目標】</p> <p>①道徳における学びに加え、専門機関と連携を取り、生徒が自他の生命を尊重しようとする態度や実践力を育むための教育の充実を図る。</p> <p>②生徒が保健体育等の時間において救急救命法を学び、緊急時の人命救助に係る対処方法を身に付ける取組の充実を図る。</p> <p>③生徒が自主的・自発的にいじめのない安心・安全な学校づくり取り組む。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>自他の命を大切にす授業では、性教育において外部講師を招聘して実施した。一方、心肺蘇生法については新型コロナウイルス感染症対策により講師派遣が困難となり、実践は行わず保健体育や総合的な学習の時間に教員が指導を行った。多様性を受容し、自他を大切にす教育については、人権教育や生徒の自治的な取組といった機会を通じて行った。</p>	
③いのちの教育の充実	児童生徒が生命の誕生や生きることの尊さを知り、自他の生命を尊重しようとする態度や実践力を育む取組を全教科・全領域において実践する。	<p>【改善方法】</p> <p>生徒が、自主的・自発的にいじめ防止の取組を推進する上で、代表者が集って、安心・安全な学校づくりに向けて協議する小中サミットのより一層の充実を図る。</p> <p>専門的な指導者を招聘して、いのちの教育に関連する授業を行う。</p>	<p>【成果】</p> <p>性教育を通して命の大切さを学ぶ授業では、より専門的知見を有した講師に教わることで、生徒は新たな視点にて自他の命の尊さを学ぶことができた。</p> <p>いじめ防止については、小中サミットの代替案として中学生による交流会を実施し、生徒が中心となり、安心して安全な学校づくりを継続できた。</p>	
		<p>【前年度の成果・課題】</p> <p>専門機関と連携し、より専門的な話や体験に基づいた説得力のある話を生徒が聞くことで、自他の生命を大切にしようとする態度の育成が図られた。</p>	<p>【課題】</p> <p>これまで行ってきた外部機関との連携の仕方や指導方法、小中サミットなどの生徒による自治的な取組に係る集会の持ち方等を見直し、コロナ禍においても継続実施できるよう新たな方策を考案する必要がある。</p>	◎
		<p>【数値目標】</p> <p>①年1回以上は専門機関を招聘した授業を実施する。</p> <p>②年1回以上は人命救助に係る対処方法を学ぶ授業を実施する。</p> <p>③安心、安全な学校づくりに向けた生徒主体の研修会を実施する。</p> <p>【前年度の実績値】</p> <p>①専門機関と連携をとりながら、自他の生命を尊重する教育の充実を図った。</p> <p>R 2</p> <p>① 1回実施</p> <p>② 1回実施</p> <p>③校区の小学校と連携して実施</p>	<p>【数値目標の実績値】</p> <p>①年1回専門機関を招聘した授業を実施した。</p> <p>②年1回人命救助に係る授業を実施した。</p> <p>③校区の小学校と連携して実施した。</p>	

令和3年度実施 令和2年度事務の管理及び執行状況の点検・評価票(個別事業) 様式1  
米子市日吉津村中学校組合教育委員会

1 基本施策	2 事務事業名	3 令和2年度目標	4 取組状況及び成果	5 個別事業評価
主な取組	概要	改善方法と数値目標		
4-1健康でたくましく、命を大切に育てる子どもの育成	安全・防災教育実施推進事業	<p>【令和2年度目標】</p> <p>①安全及び防犯関連の学習において、専門機関と連携をとりながら生徒への指導の充実を図る。</p> <p>②具体的な場面を想定した防災教育を通して、生徒が災害から身を守る態度や実践力を育む。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>防災計画に基づいた避難訓練や警察職員を外部講師として招聘しての防犯教室を実施した。</p>	
④安全教育の充実	<p>児童生徒が危険から身を守るために、それぞれの要因の理解、予測する力の育成、状況に応じた適切な対策をとるなどの実践力の育成に努める。</p> <p>また、災害への備えや、災害発生時及び発生後に周囲の状況に応じて安全に行動することなど、防災教育を通して災害から身を守る態度や実践力の育成に努める。</p>	<p>【改善方法】</p> <p>生徒が自らの身を守る態度や実践力を育むため、より充実した学習となるよう、現状の取組を見直し、必要に応じて改善を図る。</p> <p>【前年度の成果・課題】</p> <p>主に警察と連携した交通安全及び防犯教室が実施された。引き続き、専門機関と連携しながら、安全教育の充実を図る。一方、防災教育においては、災害発生時に生徒が自らの身を守る力を育むために具体的な場面を想定するなど、これまでの取組をより一層充実させる必要がある。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①年1回以上、関係機関を招聘した防犯教室を実施する</p> <p>②年に複数回、様々なケースを想定した避難訓練を実施する</p> <p>【前年度の実績値】</p> <p>R2</p> <p>①警察と連携して防犯教室を実施した</p> <p>②火災、地震、津波を想定した避難訓練を実施した</p>	<p>【成果】</p> <p>避難訓練においては、火災、地震、津波被害と様々なケースを想定した訓練を実施したことで、教職員の危機管理及び生徒の災害に対する意識が高まった。また警察職員によるインターネット犯罪に巻き込まれないようにするための授業を行い、実際にあった事案を取り扱うことで、生徒への効果的な指導につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、少人数単位で実施したり、リモートで行ったりするなど、コロナ禍においても外部機関と連携した指導が継続できるよう、工夫する必要がある。</p> <p>【数値目標の実績値】</p> <p>①年1回関係機関を招聘した授業を実施した</p> <p>②年3回避難訓練を実施した</p>	◎

## 10 学識経験者の知見

点検・評価の客観性を高めるため、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用することとしており、令和3年8月16日に、次の方々から点検・評価に関する意見聴取を行いました。

小谷 幸久 氏（社会教育委員、米子市文化協議会会長）

高橋 喜美子 氏（就将公民館運営審議会委員、元小・中学校PTA会長）

田口 立身 氏（元米子市教育委員長）

学識経験者による主なご意見・ご指摘については、次のとおりです。

番号	学識経験者の意見・指摘
基本施策	
1-1 豊かな人間性と創造力 を持った子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー研修会の実施について、参加した児童生徒が「参加して良かった。」という感想を持つ内容としてほしい。</li> <li>・リーダー研修会が、他の児童生徒にも広がっていくような啓発の取組もしてほしい。</li> <li>・スーパーバイザー、アセスメント、アウトリーチなど、教育行政で使用している言葉であると思うが、市民に伝わりにくくならないように、心がけてほしい。</li> </ul>
2-5 通学路の安全確保	<p>連絡協議会にメンバーを新たに加えることは難しくとも、偏ることがないように、新たな視点を加えて多面的に通学路の安全確保ができるように努めてほしい。</p>
4-1 健康でたくましく、命 を大切にすることの 育成	<p>児童生徒の自治的な取組として実施してきている小中サミットは、長年継続してきた良い取組だと思うので、今後も是非続けて行ってほしい。</p>

米子市教育振興基本計画体系図

基本目標	目指す子ども・成人の姿 目指す青少年・成人の姿	基本施策	主な取組
<p>1 心を育む学びのあるまち</p> <p>心の豊かさを持つとともに生きがいがある、 れる豊かな人生を送れるよう、人と人との 関わり合いの中で、互いに認め合いながら 心の交流を図ることのできる学びの機会を 提供に努めます。</p>	<p>○ 互いの違いを認め合いながら、自他の命の 大切さを自覚できます。</p> <p>○ あいさつ、感謝など自分の気持ちの表現が できるとともに、課題解決のための行動が とれます。</p>	<p>1-1 豊かな人間性と創造力を持った子どもの育成 学校教育課</p> <p>1-2 青少年の健全育成 子育て支援課 生涯学習課</p>	<p>①心の教育の充実 ②人権教育の充実 ③生徒指導の充実 ④キャリア教育の充実 ⑤環境教育の充実</p> <p>①児童文化センター運営事業 ③新リーダー育成事業 ④成人式の企画・開催</p> <p>①青少年団体活動支援事業</p> <p>①少年育成センター運営事業</p>
<p>2 学ぶ楽しさのあるまち</p> <p>学んだことをいかしながら創造力と実践力 が育まれるよう、どの世代においても様々 な体験を通して発見や豊かな学びが獲得 できる場の提供に努めます。</p>	<p>○ 学ぶ楽しさを知り、自ら進んで学ぼうとする 姿勢があります。</p> <p>○ 学んだことを生活や行動にいかそうという 意識を持っています。</p> <p>○ 学習の基礎・基本がしっかり身につけてい ます。</p>	<p>2-1 豊かな学力を身につけた子どもの育成 学校教育課</p> <p>2-2 安全で安心な学校施設の改善 教育総務課</p> <p>2-3 環境に配慮した学校教育環境整備の推進 教育総務課</p> <p>2-4 学校のICT環境の整備 教育総務課</p> <p>2-5 通学路の安全確保 教育総務課</p> <p>2-6 学校図書館の充実 教育総務課</p> <p>2-7 子ども地域活動の支援 生涯学習課</p> <p>2-8 子ども読書活動の推進 市立図書館</p> <p>2-9 子ども芸術文化とのふれあいを推進 文化振興課</p> <p>2-10 子どものための文化財の活用 文化振興課</p> <p>2-11 公民館運営の充実 生涯学習課</p> <p>2-12 公民館の整備 生涯学習課</p> <p>2-13 生活に役立つ図書の実 市立図書館</p> <p>2-14 市民文化の振興 文化振興課</p> <p>2-15 文化財を学ぶ環境づくり 文化振興課</p>	<p>①学力の向上を図る学びの充実 ②特別支援教育の充実 ③外国語活動・英語教育の充実 ④図書館教育の充実 ⑤情報教育の充実</p> <p>①学校施設大規模改修・非構造部材の耐震化 ②学校施設整備(改修)事業</p> <p>①学校施設維持管理事業 ②学校施設のバリアフリー化事業 ③下水・農業養液排水接続事業</p> <p>①ICT機器整備事業</p> <p>①米子市内通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催と合同点検の実施 ②危険箇所における安全対策の実施と対策効果の効果を把握と対策の充実</p> <p>①学校図書館運営事業</p> <p>①公民館運営事業-子ども地域活動の支援 ①ブックスタート支援とおはなし会の実施 ②学校図書館の支援と連携の充実 ③子ども読書活動推進事業の実施</p> <p>①芸術文化事業(児童生徒を対象とした芸術文化事業) ②学校公演事業(芸術文化による子ども育成事業) ③芸術活動支援事業(アートスタート活動支援事業)</p> <p>①埋蔵文化財保存活用事業</p> <p>①公民館運営事業-広報事業 ②公民館運営事業-社会教育講座 ③公民館運営事業-体育・文化事業 ④公民館運営事業-ひとづくり・まちづくり事業</p> <p>①公民館施設等整備事業 ②明道公民館整備方針と加茂公民館移転事業</p> <p>①生活充実図書整備事業 ①文化ホール管理運営事業 ②淀江文化センター管理運営事業 ③公会堂管理運営事業 ④美術館管理運営事業</p> <p>①埋蔵文化財活用事業</p>
<p>3 生涯を通じて学ぶ楽しさを身につけ、学んだことをいかし、自己実現に努めています。 ○ 学んだことをまねて実践に努めています。</p>	<p>○ 生涯を通じて学ぶ楽しさを身につけ、学んだことをまねて実践に努めています。</p> <p>○ 学んだことをまねて実践に努めています。</p>		

米子市教育振興基本計画体系図

基本目標	目指す子ども・成人の姿	基本施策	主な取組
<p>3 郷土で育む学びのあるまち</p> <p>米子の財産である豊かな自然や歴史・文化遺産を保護・保存・継承・活用していくとともに、その魅力と価値を発信しながら、市民が郷土に誇りを待てる学びの創造に努めます。</p>	<p>○ 米子の地理や歴史を学びながら、米子の自然や伝統・文化を理解しています。</p> <p>○ 郷土である米子を愛し、誇りをもち大切にしています。</p> <p>○ 米子の自然や伝統・文化を理解し、継承・発信に努めています。</p> <p>○ 郷土である米子を愛し、誇りを持ってまちづくりを進めています。</p>	<p>3-1 歴史的文化的遺産の保存・活用</p> <p>3-2 地産地消の推進</p> <p>3-3 生涯学習活動の推進</p> <p>3-4 芸術文化活動の推進</p> <p>3-5 文化財の保存・活用</p>	<p>①山陰歴史館管理運営事業</p> <p>①学校給食における地産地消の推進</p> <p>②生産者と児童生徒の交流の実施</p> <p>③児童生徒から募集した地元産材を利用した献立の提供</p> <p>①社会人向け講座開催事業-米子人生大学の開催</p> <p>②社会人向け講座開催事業-よなごアカデミーの開催</p> <p>①市民参加による芸術文化事業の推進</p> <p>②秋の文化祭の開催</p> <p>①忠跡上定康寺跡保存整備事業</p> <p>②埋蔵文化財センター管理運営事業</p>
<p>4 健康で安心して学べるまち</p> <p>生涯にわたり健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康に関する情報発信や啓発を行いながら、誰もが目的や年齢等に応じたスポーツに親しむことができる場の提供と全ての施設で安心して学べる環境整備に努めます。</p>	<p>○ 規則正しい生活をして、「早寝・早起き・朝ご飯」が実践できます。</p> <p>○ 食生活の大切さを理解するとともに、スポーツを通じて健康的な体づくりを目指しています。</p> <p>○ 規則正しい生活と適切な食生活を送り、健康的な体づくりに努めています。</p> <p>○ 自ら進んでスポーツに親しみ、体力の増進に努めています。</p>	<p>4-1 健康でたくましく、命を大切にすることを育成</p> <p>4-2 子どものスポーツ活動の推進</p> <p>4-3 安全で安心な学校給食の安定供給</p> <p>4-4 食育の推進</p> <p>4-5 健康教育と家庭教育の推進</p> <p>4-6 成年期からのスポーツ活動の推進</p> <p>4-7 地域スポーツ活動の推進</p> <p>4-8 競技力の向上</p> <p>4-9 スポーツ施設等の充実</p>	<p>①体力・運動能力の向上を図る取組の充実</p> <p>②健康教育の充実</p> <p>③いのちの教育の充実</p> <p>④安全教育の充実</p> <p>①親子体力づくり大会の開催</p> <p>②少年スポーツ教室の開催</p> <p>③小学生を対象とする各種大会の開催</p> <p>④スポーツ少年団運営事業</p> <p>①調理事業者との定期連絡会と調理場の定期検査の実施</p> <p>②学校給食運営委員会の開催</p> <p>③児童生徒及び教職員対象に学校給食アンケートの実施</p> <p>④食物アレルギー対応の適正な実施</p> <p>①給食時間の学校訪問</p> <p>②授業への参画(チーム・ティーチング)</p> <p>③食育に関する保護者への啓発</p> <p>①健康教育講座開催事業</p> <p>②家庭教育支援事業</p> <p>①各種スポーツ大会の開催</p> <p>②市民体育祭の開催</p> <p>③体力づくり歩け大会・体カテスト会の実施</p> <p>①スポーツ推進委員協議会運営事業</p> <p>②学校体育施設活用事業</p> <p>①スポーツ表彰事業</p> <p>②小学生全国大会出場奨励金交付事業</p> <p>①体育施設管理運営事業</p> <p>②公園施設管理運営事業</p>